

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーF2											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	江口靖二			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリーなど構成と演出について学ぶ。											
到達目標											
制作（演出・ディレクター）と技術の知識だけでなく、プロデュースの観点からお金を生み出す側を知ること、番組、テレビ局全体の構造を俯瞰できるようになることを目指す。											
授業方法											
担当する講師の現場での経験を踏まえて、出来る限り実例を交えて授業を展開します。業界を目指す人達にとって興味深い内容になるように留意します。授業展開によってはワークショップを行い、課題提出もあります。											
成績評価方法											
学期末に試験を行う。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。											
履修上の注意											
キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
パワーポイントの投影画像を資料として配布する。毎回テーマを決めて映像作品(ドラマやドキュメンタリー等)を見せる。											
回数	授業計画										
第1回	映像コンテンツ及び映像制作総論マルチメディア時代と映像クリエイター現状と将来性										
第2回	制作フローとスタッフ編成と役割制作現場の全体を知ること、プロデューサーの仕事を学ぶ										
第3回	プロデュースするという事はプロデューサーの責任、マネジメントを学ぶ										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシーF2	
第4回	テレビビジネス・営業テレビ局のビジネスモデルと視聴率、テレビ営業の仕組みと広告代理店を学ぶ
第5回	バラエティー番組プロデュースワイドショー、情報バラエティー、お笑い、クイズなどの番組構成を理解する
第6回	商業映像プロデュース受信料と広告収入、番組はCMの為にある、プロデューサーVSディレクターなどを学ぶ
第7回	ドラマプロデュースキャスティング、予算、スポンサーなどドラマ制作の手順を学ぶ
第8回	～第9回映画プロデューステレビドラマの映画化、映画業界の繁栄と衰退、ハリウッドを知る、などを学ぶ映画制作委員会を知ること映画業界のお金の流れを理解する
第10回	スポーツプロデューススポーツ大会、スポーツ番組の制作、お金の流れを理解する
第11回	ニュース、報道プロデュース新聞とニュース番組の違い、報道番組の生業を理解する
第12回	インターネット番組プロデュースインターネット番組の需要と供給を知る
第13回	～第14回企画プロデュース演習番組の企画、プランニング、プロデュースを考えて発表するCMの企画、プランニング、プロデュースを考えて発表する
第15回	復習、試験対策